

京都市市民生活実感調査にご協力ください

平素から京都市政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、京都市では、平成16年度から毎年度「市民生活実感調査」を実施しております。

このアンケート調査は、京都市が取組を進めている様々な分野について、市民の皆様が「どのような実感をお持ちなのか」、また「何を重要と感じておられるのか」について調査することを目的としています。

皆様からいただいた回答を集計、分析し、その結果を市の政策評価（※）や市の仕事を効果的に進めるための重要な情報として活用していきたいと考えております。

なお、このアンケート調査は、市民の皆様の感じ方から政策、施策を評価し、今後の市政運営に役立てるために、市内にお住まいの方から無作為に選んだ20歳以上の4,000人の方々に記入をお願いするものです。

今回お答えいただきました内容は、統計的に処理いたしますので、ご迷惑をおかけすることは一切ございません。

何かとご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

平成20年5月

京都市長 ○○ ○○

※ 政策評価＝政策の目的がどの程度達成されているかを評価し、市民の皆様にお示するとともに、次の政策、施策の展開に役立てる仕組み

この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

京都市総合企画局政策推進室政策企画課 「京都市市民生活実感調査担当」

電話 075-222-3035 FAX 075-212-2902

ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000004115.html>

（アンケート調査票は設問数が多いため、2つに分けて実施しています。すべての設問は上記ホームページからご覧いただくことができます。）

ご記入いただきましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて**5月19日（月）までに**投函をお願いいたします。

京都市市民生活実感調査 調査票

生活実感

質 問	選 択 肢				
	そう思う	どちらか という そう思う	どちらか とも言え ない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
Q 1. 京都は普段の生活の中で「人権」を大切にし、尊重し合う習慣が根付いている。	a	b	c	d	e
Q 2. 一人一人の子どもの人格が大切にされ、子どもの権利が守られている社会である。	a	b	c	d	e
Q 3. 障害のあるひとが、様々な面で暮らしやすいまちになってきている。	a	b	c	d	e
Q 4. 国籍、民族、文化等が違ってもお互いに理解し合い、共生する社会になってきている。	a	b	c	d	e
Q 5. 今住んでいる住宅や周りの環境には満足している。	a	b	c	d	e
Q 6. 高齢者や障害のあるひとの働く場が確保されている。	a	b	c	d	e
Q 7. 学校と家庭・地域が一体となって子どもたちを見守っている。	a	b	c	d	e
Q 8. 障害のある子どもの状況に応じた総合育成支援教育が行われている。	a	b	c	d	e
Q 9. 最近の学校は施設や設備が充実している。	a	b	c	d	e
Q 10. 高齢者とその家族を支えるホームヘルプ（訪問介護）などのサービスが充実している。	a	b	c	d	e
Q 11. 子どもを産み育てるときに、気兼ねなく健康相談を受けたり、病院にも行けるなど、安心である。	a	b	c	d	e
Q 12. 障害のある子どもや養護に欠ける子どもに対する子育て支援が十分に行われている。	a	b	c	d	e
Q 13. 子どもの居場所や遊び場所があるので、様々な体験ができる。	a	b	c	d	e
Q 14. 医薬品の副作用や食中毒、感染症など健康に関する情報が手に入れやすい。	a	b	c	d	e
Q 15. 精神に障害のある人への保健、医療、福祉サービスが充実している。	a	b	c	d	e

質 問	選択肢				
	そう思う	どちらか というと そう思う	どちらか とも言え ない	どちらか というと そう 思わない	そう 思わない
Q16. 地域において、気軽にスポーツを楽しむ機会がある。	a	b	c	d	e
Q17. 「きれいな空気、清らかな川、静かなまち」など、よい環境が保たれている。	a	b	c	d	e
Q18. 建物の耐震対策や防火水槽の設置などにより、まち全体の防災機能は高くなってきている。	a	b	c	d	e
Q19. 地域の自主防災組織があるので、災害から身を守るために、住民同士協力しあえるようになってきている。	a	b	c	d	e
Q20. 情報提供や啓発活動などにより、消費者被害に遭わないための知識が備わってきた。	a	b	c	d	e
Q21. 歩道の電柱や段差がなくなるなど快適になった。	a	b	c	d	e
Q22. 公共交通機関を利用する人が増えている。	a	b	c	d	e
Q23. 京都の個性的なまちなみ景観が守られている。	a	b	c	d	e
Q24. まちなかには文化を感じさせる木造建築がきちんと残っている。	a	b	c	d	e
Q25. 市民の文化活動が盛んである。	a	b	c	d	e
Q26. 京都ならではの文化資源を生かした文化・芸術活動が盛んである。	a	b	c	d	e
Q27. 観光や産業振興に文化資源がうまく活用されている。	a	b	c	d	e
Q28. 関西圏での連携や周りの都市との交流が行われているので、京都のまちに活気が生まれている。	a	b	c	d	e
Q29. 図書館や色々な博物館など、いつでも学べるような環境が整っている。	a	b	c	d	e
Q30. 京都の特色を生かした産業活動が活発に行われている。	a	b	c	d	e

質 問	選択肢				
	そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも言 えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
Q31. 市内の買物環境に満足している。	a	b	c	d	e
Q32. 寺院、神社でのライトアップなど、新たな観光資源の開発が活発である。	a	b	c	d	e
Q33. 京都は海外からの観光客にとって魅力的な都市である。	a	b	c	d	e
Q34. 京都は観光客を温かくもてなすまちである。	a	b	c	d	e
Q35. 大学の人材・研究成果は産業活動に役立っている。	a	b	c	d	e
Q36. 京都の大学は、施設や環境が充実している。	a	b	c	d	e
Q37. ベンチャー企業支援や若者企画のイベントなど、京都は若者が活躍できる場である。	a	b	c	d	e
Q38. 美しい自然や町並みが保たれている一方、南部地域には企業が集積するなど、多様なまちづくりが進んでいる。	a	b	c	d	e
Q39. 景観や住環境を守るための住民によるまちづくり活動が盛んになってきている。	a	b	c	d	e
Q40. 鉄道網や道路網が発達しているので、近隣の都市へ出かけるのに便利だ。	a	b	c	d	e
Q41. インターネットをはじめとした情報通信技術（ＩＴ）をだれもが利用しやすい。	a	b	c	d	e
Q42. 企業のＩＴ化は十分進んでいる。	a	b	c	d	e
Q43. 情報通信技術は高齢者や障害のあるひとの社会参加に役立っている。	a	b	c	d	e
Q44. 市民しんぶんやその他の市政広報は、くらしの役に立つ情報が掲載されている。	a	b	c	d	e

生活実感

質 問	選択肢				
	そう思う	どちらか という そう思う	どちらと も言えな い	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
Q45. 市政に参加したいと思ったときに、必要な情報を得やすい。	a	b	c	d	e
Q46. 京都独自の政策が打ち出されている。	a	b	c	d	e
Q47. 役所の仕事ぶりは、以前よりも良くなった。	a	b	c	d	e
Q48. 公共事業の再評価によって事業の点検がしっかりできている。	a	b	c	d	e
Q49. 区役所で保健や福祉のサービスも利用できるなど、便利になった。	a	b	c	d	e

政策重要度

京都市では、次のような各分野の政策に取り組んでいます。

この中で、あなたにとって今、特に大切と思われる分野について、**5つまで選んで「○欄」**に○を付けてください。

分野・政策名	○欄	分野・政策名	○欄
1 人権文化 [ひとりひとりが個人として厚く尊重される]		15 生涯学習 [生涯にわたってみずからを磨き高める]	
2 住環境 [すべてのひとがいいきと活動する]		16 産業 [産業連関都市として独自の産業システムをもつ]	
3 しごと [すべてのひとがいいきと活動する]		17 観光 [魅力ある観光を創造する]	
4 学校教育 [子どもたちが心豊かで社会性を身につけみずからの生き方を学ぶ]		18 大学 [大学の集積・交流が新たな活力を生み出す]	
5 福祉 [すべてのひとが相互に支え合い安心してくらす]		19 青少年 [若者が集い能力を発揮する]	
6 子育て [子どもを安心して産み育てる]		20 個性と魅力あるまちづくり [個性と魅力あるまちづくり]	
7 健康（保健・医療，スポーツ） [心身ともに健やかにくらす]		21 交通基盤 [多様な都市活動を支える交通基盤づくり]	
8 環境 [環境への負担の少ない持続可能なまちをつくる]		22 高度情報化 [高度情報通信社会に対応できる基盤づくり]	
9 消防・防災 [災害に強く日々のくらしの場を安全にする]		23 情報公開 [情報を市民と共有する]	
10 生活安全（犯罪・事故，消費生活） [日常生活における身近な安全や安心を確保する]		24 市民参加 [市民の知恵や創造性を生かした政策を形成する]	
11 歩いて楽しいまちづくり [歩いて楽しいまちをつくる]		25 市政改革 [市民とともに政策を実施する]	
12 美しいまちづくり [美しいまちをつくる]		26 行政評価 [市民とともに政策を評価して市政運営に生かす]	
13 文化 [成熟した文化が実現する]		27 区役所を拠点とする地域づくり [個性を生かした魅力ある地域づくりを進める]	
14 国際交流 [国内外との多彩な交流を行う]			

※ []は、京都市基本計画の政策項目です。

市政関心度

あなたは**京都市政に関心**がありますか。次の中から**1つ選び**○を付けてください。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 関心がある | 2. 少しは関心がある | 3. あまり関心がない |
| 4. まったく関心がない | 5. わからない | |

自由記述

市に望むこと，このアンケートに關すること，その他**何でも結構**です。**ご意見，ご提案**がございましたら，ご記入ください。

(特に，アンケートで無回答，「そう思わない」又は「どちらとも言えない」とのご回答があった場合，その理由をお聞かせいただければ幸いです。)

◇ 最後に，あなたご自身のことについてお尋ねします。次の①～⑤の各項目について，該当する番号を**1つ選び**○を付けてください。

① 性 別

1. 男 2. 女

② 年 齢

1. 20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代 4. 50 歳代
5. 60 歳代 6. 70 歳代 7. 80 歳以上

③ 職 業

1. 自営業・自由業 2. 会社員・公務員等給与所得者 3. 主婦・主夫
4. 学生 5. 無職 6. その他（ ）

④ 居住区

1. 北区 2. 上京区 3. 左京区 4. 中京区 5. 東山区 6. 山科区
7. 下京区 8. 南区 9. 右京区 10. 西京区 11. 伏見区

⑤ 京都市での居住年数

1. 5年未満 2. 5～11年未満 3. 11～31年未満 4. 31年以上

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて5月19日（月）までに投函をお願いいたします。